



園長だより

(37号)

園長 大串 すみゑ



《7月・文月 (ふづき・ふみづき)》

文月とは・・・『短冊に、歌や字を書いて、書道の上達を祈った七夕の行事に因んだ「文披月 (ふみひらづき)」が転じたと言われている。』

とありますが、私が子どもの頃は、「朝、早起きをして、里芋の葉に溜まった朝露を集めて、それで墨を擦って字を書くと、字や文が上手になる」と親から言われていました。

そこで、私は七月七日の朝だけは、早起きをして朝露を集め、眠い目をこすりながら真面目そうに筆を持った事を思い出します。

幼稚園では、大きな笹飾りが飾られました。そこに園児がねがいを書いた飾りが付けられ、梅雨の晴れ間の青空にサラサラと揺れています。全～部のねがいが叶いますように・・・！

7月の禅語より

竹葉々起清風 (たけようよう せいふうをおこす)

・この句だけの意味は「風に吹かれて竹の葉がさらさらと触れあいながら清らかな風を送っている」様子を表している。

元の全誌からの意味だと、竹の葉がさやさやと起こす清風の爽やかさに、旅立ちの友人への惜別の情と、旅の平穏を願う気持ちが表れている誌であるといわれており、また、これは、永の別れではなく、自立することによって生まれる、求道の旅によって生まれるしばしの別れなので、「行ってこい」と力強く送り出す気持ちも伝わって来る。との解説でした。

【先生の報告書より】年中組

・今日 (6月6日) は、みんなで泥んこ遊びをしました。「裸足になって良いよ」と言うと、みんな「やった!!」と大喜び。「泥んこが足に付くと気持ちいい〜!」と感触を楽しんだり、砂の上を歩くと痛い・・・ということも気付いたようです。みんなが盛り上がったのは、お山づくり。大きなお山を作りトンネルを掘ろうとみんなで盛り上がっていると、何人もの子が1つの山にトンネルを掘り始め、その結果、お山は崩れてしまいました。誰のせいでもないのですが、「やったのは誰? 壊しちゃだめだよ」と始めは言い争っていましたが、最後は「また明日も頑張ろう」という結論に至りました。

・今日 (6月21日) は、避難訓練がありました。年中になって初めての避難訓練でした。とても緊張感のある中で行われ、その緊張感の良い意味で子ども達に伝わったのだと思います。放送が流れた時から、だまりっこをして指示を良く聞いていました。ただ、少し焦ってしまう子もいて、防災頭巾を練習の時は自分で付けられたのに、今日は出来ないという子も2~3名いました。本番の時に焦らない事が大切だと思いますので、今回の訓練はとても貴重な経験になりました。

訃報

さくら組まつむらりさちゃんのお母様 (松村聡子様) が病氣療養中のところ薬石効なくご逝去されました。心よりお悔やみ申し上げます。



山本裕子

落合有希

石川未沙綺

富田ちひろ